

科目名（英文表記）	地域経済・経営II（パブリックマネジメント） （ Regional Economy and Management II ）		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	宇野二郎（非常勤講師）	ナンバリング	MBA_C_EM 5221
研究室番号	なし	研究室電話番号	なし
Eメール・アドレス	unoj@juris.hokudai.ac.jp		
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載			
<b>授業の目的と到達目標</b>			
<p>現代では、ビジネスセクターとパブリックセクターの境界はあいまいになっているが、両者の間には、価値観や行動様式に違いも見られる。両者を架橋することで新たなビジネスと公共性を創造し、地域を再生していくためには、両者の共通点や相違点を正しく理解することが重要である。</p> <p>この授業の目的は、パブリックセクターの特性を知ることである。そのために、この授業では、公共政策のプロセスの特徴を学び、さらに、水道事業の民営化を題材として官民連携について検討する。</p> <p>到達目標は、公共政策のプロセスへの理解を通じてパブリックセクターの特質を説明できること、また、水道事業を題材として官民連携のあり方について自分の考えをまとめ、それを説明できるようになることである。</p>			
<b>使用教材：</b>			
<p>秋吉貴雄・伊藤修一郎・北山俊哉（2020）『公共政策学の基礎 [第3版] 』有斐閣  宇野二郎・長野基・山崎幹根『テキストブック地方自治の論点』ミネルヴァ書房  橋本淳二『水道民営化で水はどう変わるか』岩波書店、2019年。  岸本聡子『水道、再び公営化！』集英社、2020年。  日本政策投資銀行『水道事業の経営改革』ダイヤモンド社、2017年  丹生谷美穂・福田健一郎『コンセッション・従来型・新手法を網羅した PPP/PFI 実践の手引き』中央経済社、2018年  加藤崇『水道を救え AIベンチャー「フラクタ」の挑戦』新潮社、2022年。</p>			
<b>成績評価の方法：</b>			
<p>授業への貢献30%、各回のリアクションペーパー40%、最終レポート30%</p> <p>なお、評価に不服のある場合には、不服申立書（任意）を以て、アントレプレナーシップ専攻教務委員会委員長に申し出てください。</p>			
<b>履修上の注意事項：</b>			
<p>授業は基本的に、本シラバスの記載内容に即して進行しますが、変更・修正等の必要が生じた場合には、manaba上において、お知らせします。</p> <p>総講義時間の1/3を超えて欠席すると、評価上「不可」となりますのでご注意ください。</p>			